

学力・学習状況調査の結果について

今年度の6年生を対象とした全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症による臨時休校のため実施が見送られました。帯広市ではその調査用紙を活用し、本市の学力・学習状況について調査を行いました。明らかになった本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは子どもたちが身につけるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ次年度以降に生かしていきたいと考えています。

◆学力の概観◆

昨年度よりA問題(知識を問う問題)とB問題(活用を問う問題)が統合され、知識・活用を一体的に問う調査問題となりました。また、全国での調査が行われていないため、全国平均による比較ができませんので、昨年度の本校の結果と比較することで学力の特色について捉えました。

- 1 国語における結果は、平均点で見ると昨年度とほぼ同様な結果となっています。
「書くこと」については、昨年度の結果を上回っており、普段の授業での取組が実を結んでいます。一方、「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」にはやや課題が見られました。
- 2 算数における結果は、平均点で見ると昨年度とほぼ同様な結果となっています。
「数量や図形の技能」、「数量や図形についての知識・理解」においては、昨年度の結果を上回っています。一方、「数学的な考え方」については、課題が見られました。
- 3 児童質問紙では、「地域の行事に参加している」「学級会での話し合い」「道徳での話し合い」の質問で昨年度に比べ「あてはまる」と答えた児童の割合が高い結果となりました。「自分にはいいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「自分で計画を立てて勉強をしている」に「あてはまる」と答えた児童の割合が昨年度より低い結果となりました。

これらの結果を受け、今後も本校では以下の視点を大切にしていきたいと考えます。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視し、学習の基盤を育てていきます。
- ② 自分の考えや思いをまとめ説明したり、友達と交流したりする学習を通し、より深い学びに向けた指導を充実させていきます。
- ③ 保護者の皆様の理解・協力のもと、自学自習の態度や学習習慣の確立、学習意欲の向上にさらに努めていきます。